

# 客間の明かり

桐生倶楽部拝見

③

玄関から一番近いところにその部屋はある。

まるでどこかの屋敷に招かれたような、安らぎの空気に満ちた2号室。別名、「談話室」。

桐生倶楽部の各部屋は机やすい、暖炉にランプ、そして絵画と、それぞれの部屋の用途、また、雰囲気

## 「2号室」



合った調度品が置かれ、部屋の個性をさらに引き立てている。

優しい色の細かな模様の入ったクロソが張られた2号室には、柔らかなソファが置かれ、落ち着きある静物画とさわやかなアユの絵、そして光あふれる桐生倶楽部の絵などが壁を彩っている。

そのソファにそっと腰掛けてみた。外界の音は遠く、穏やかな光に包まれた部屋では、時間もいつもよりゆっくり流れているように感じる。

日々の喧騒(けんそう)を離れ、心通う仲間と、共通の趣味のことなど語らってみてはいかがだろうか。(野)

【データ】▽桐生倶楽部 桐生市仲町二丁目9の36、電45・2755、社員外でも社員の紹介か、理事者の承認があれば有料で利用可能▽2号室 定員15人、食事不可。半日3400円、午前9時から午後5時まで5200円、午後5時から9時まで4100円(冷暖房費、厨房〈ちようぼう〉使用料など別途要)。

安らぎに満ちた語らいの場